



【教育目標】 自他を尊重し、豊かな人生を拓く子どもの育成

【重点教育目標を具現化する合言葉】 「まほうかける」

まなざし ほほえみ うるおい かかわり ケア ルール

「道徳性」は、道徳科の授業のみではなく、学校教育全体で育てるもの
子ども各々の経験、体験、人とのふれあい等を経て、次第に養われていくもの

教頭 高橋 賢祐

「道徳の時間」から「特別の教科 道徳」（以下「道徳科」として、令和2年度の新学習指導要領全面実施に先駆けて実施され、早5年が経ちます。来月の参観日では全学級「道徳科」の授業参観を予定していますので、これを機に、改めて道徳科の役割、道徳教育全体について整理してみます。

この数年、道徳科授業作りに力を入れてきた学校が全国で多数見られます。その中で以下のような声を聞いたり、場面に出会ったりします。

例1) 「道徳科の授業で、働くことのよさを学んだのに、ちっとも掃除をしないんですよね。」

例2) 「〇〇さん！この間の道徳科の授業で公平な態度で行動したいって言ってたじゃない！どうして□□さんに意地悪をしたの！！何をやっているの！！」

例1は、職員室で若い先生に相談されたり、学校評価の反省で悩みとして書かれる内容です。

例2は、学級の児童が、先生から少し強めに指導を受けている場面です。

このように先生が悩む気持ち、指導する気持ちはよくわかります。先生は、授業をするために教科の予習や教材の準備をし、授業の「ねらい（目標）」を達成しようと日々努力をします。教えたことは当然身につくように指導の工夫・改善をします。これは、各教科のテストをすることで、その指導や児童生徒の取組の成果がわかりますので、先生方は自分の指導成果を目の当たりにし、一喜一憂するのです。ですから、道徳科として指導した結果、上のような悩みや指導をすることもよくわかるのです。先生は一生懸命ですから。

しかし、道徳科においては、このような考え方を

もつべきではないのです。

教育の究極の目標である「人格の完成」の基盤となるのが「道徳性」です。その「道徳性」を育てることが学校教育における「道徳教育」なのですが、「道徳教育＝道徳科」ではないというのが大切なポイントです。以下は学習指導要領から抜粋・要約したものです。

道徳教育とは、「道徳科」の指導を要として、各教科、外国語活動、特別活動など学校の教育活動全体を通じて行うもの。

「道徳性」は、教育活動全体で育てていくものなのです。もちろん、学校以外の場面での日々の生活の中で、児童生徒は自身の「道徳性」を発達させていくわけです。我々大人も、日々、自身の「道徳性」を発達させているのです。

先ほどの例1～2のように先生が児童生徒に接すると、それは「道徳的な価値の押し付け」「主体性をもたない行動の強要」となります。道徳教育の目指す方向とは対極の考えとなります。道徳の授業が嫌いになってしまうかもしれませんね……。

道徳科の時間は、児童生徒に「道徳諸価値について考えたり、深めたりなどをするきっかけの時間」と捉える程度がちょうどよいのです。児童生徒が、その授業で考えたこと、学んだことが、その後の行動にどう影響するかは個人差があります。しかし、それぞれの児童が、「そう言えば、あのときの授業であんな風に考えたよね。」

となってほしいわけです。

このような観点をもっていただき、次の参観日、子どもたちが意見を述べ合う姿をご覧になれば、幸いです。

3年ぶりの地域合同運動会

4日(土)、3年ぶりとなる地域合同の運動会を実施しました。大変寒い中でしたが、保護者、地域の方々のご協力・ご配慮により、寒さに負けず無事に終わることができました。また、参加されていた皆様には、多くの競技に積極的に参加していただきました。おかげさまで、運動会が大変盛り上がりました。皆様、大変ありがとうございました。

さて、子どもたちは、この日のために体育の授業はもちろん、休み時間も活用しながら、チームでの練習に励んできました。練習が進むにつれて、次第に高学年がリーダーシップを発揮し、チームとしてのまとまりが生まれてきました。当日は、寒さに震えながらも、一生懸命頑張る姿が立派でした。この行事を通して、さらに心も体もたくましく成長しました。



春季避難訓練でスモーク体験

8日(水)は、春季避難訓練を実施しました。中名寄小学校の児童は、避難がとても素早いと消防署の方から褒めていただきました。子どもたちは「お(おさない)・は(はしらない)・し(しゃべらない)・も(もどらない)」をしっかりと理解し、適切な避難の仕方できていました。避難後は、水が入った消火器による消火体験、室内でのスモーク体験を行いました。

消火剤はどこをねらってかけるのか、煙の中での行動はどうしたらよいか理解でき、充実した学習となりました。



遠足（低～中学年）



17日（金）に、1～4年生の遠足を行いました。暑すぎず寒すぎずで遠足にはちょうどよい気温のなか、低学年、中学年それぞれが違う距離で歩き、目的地の「サンピラーパーク」、「きたすばる」を目指しました。

体力自慢の中名寄小の子どもたちでも、途中少しだけ疲れは見せたものの、おいしいお弁当を食べた後は、右の写真の「ふわふわドーム」で元気いっぱい遊んで、楽しんでいました。

恒例の「ボルトポーズ」で全体写真を残し、よい思い出をつくった行事となりました。



修学旅行（高学年）

22日（水）～23日（木）は、智恵文小との合同修学旅行を実施しました。高学年の子どもたちは、5月から事前の合同学習やオンラインを活用した事前学習を行ってきました。部屋割りやバス座席を決めることはもちろん、自分たちが訪問する場所を調べてクイズを作ったり、施設での行動の仕方を決めたりとしっかりと準備を頑張ってきました。

旅行1日目は「オホーツク流水科学館」「網走監獄」、2日目は「流水硝子館」でのサンドブラスト体験、「オホーツクタワー」の訪問と、智恵文小の友だちと元気いっぱい楽しむことができました。

この修学旅行の取組を通して、よい思い出をつくったともに、友だちと協力し合うこと、自分たちで主体的に考えて行動することの大切さを学ぶことができました。



全校での体力テスト

13日（月）と15日（水）の2日間で「体力テスト」を実施しました。

昨年度の記録を踏まえ、今年はどのくらい成長したかを振り返ります。また、今後の体力作りの活動に生かしていきます。



連絡

来月の行事に関する連絡です

学校説明会

5日(火)の午後に、来年度、再来年度の転入学希望者を募る目的で学校説明会を行います。地域・保護者の皆様には、お知り合いの方にお声がけしていただけたら大変ありがたいです。よろしくをお願いします。

情報モラル講座

同じく5日(火)の午前中、2～4校時にかけて、情報モラル教室を行います。GIGAスクール構想による「一人一台端末」の整備が急速に進み、端末に触れる機会が大幅に増えてきたからこそ、大変意義のある学習になります。

参観日・神社山・保護者懇談

8日(金)の参観日では、5月にできなかった神社山散策を実施します。晴れることを切に願っています。

また、右の行事予定にはありませんが保護者懇談が7月上旬に予定されています。別紙にて、予定表を配付しますので、ご確認ください。

風の子教室

13日(水)に風の子教室を予定しています。今回も、北国博物館の学芸員さんに講師を依頼しています。今回の活動も楽しみです。

イカダ下り・廃品回収など

23日(土)に、イカダ下り、廃品回収・環境整備を行います。中名寄小学校の特色ある取組の1つで、地域・保護者の皆さんの多大なご協力で成り立っている行事です。

すでに案内を配付していますが、PTA役員会で役割分担などを決定次第、皆様にも詳細をお知らせします。ご協力のほど、よろしくをお願いします。

7月 行事予定

日	曜	
1	金	開校記念日
2	土	
3	日	
4	月	朝会 交通指導 下校指導 環境検査 市立大生ボランティア
5	火	情報モラル講座 学校見学会 下校指導
6	水	水泳① PTA役員会
7	木	児童会⑤ 職員会議(7月定例)
8	金	特別日課 参観日 神社山散策(P行事)
9	土	
10	日	
11	月	市立大生ボランティア 遊具基礎工事
12	火	ALT⑥ 3年生ラルズ見学
13	水	特別日課 水泳② 風の子教室(放課後)
14	木	不審者遭遇避難訓練 遊具設置工事
15	金	市へき集合学習(中) 給食費納入日 遊具設置工事
16	土	
17	日	
18	月	海の日
19	火	安全点検日 やまゆり号 幼稚園交流(光名幼稚園)
20	水	特別日課 クラブ④
21	木	校内研修⑥ いじめ防止サミット
22	金	1学期終わりの会 大掃除
23	土	夏季休業(~8/17) イカダ下り、廃品回収・環境整備
24	日	
25	月	日影婦人会パークゴルフ(コース使用)
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	(2学期始業式 8/17)